

# 和地ひとみレポート No.141

## 2015年が幕開け。今年4月、統一地方選挙実施。 現職、尾崎市長が12月議会で出馬表明

### ■今年統一地方選

…2015年がスタートしました。皆様にとって今年1年が良い年となりますようお祈り申し上げます。私が初当選をさせていただいてから、今任期も残すところあと4ヶ月ほどになりました。4年という長いようですが、東大和市を少しでも良くしたい、市民の感覚を市政に反映させたいという思いを実行するためには、あつという間のような短い時間でした。

…4年前、初当選した時に、あるまちの市長に言われたのは「市政というものは、良いと思うことでも大きく舵を切るのは難しい。そのことで、市民の生活に及ぼす影響も考えなければならない。しかし、良いことはゆっくりとでもその方向に舵を切ることによって実現できる」ということでした。私は、自身の中の『市民の感覚』を活かし、また、市民の皆様の声を聞いて、行政の具体的な問題点をできる限り取り上げ、改善策を提言してきました。時には夢のような未来を語ることも必要ですが、実際に日々行われている市政の質、価値を向上させることが「住んでいて良かった」ということに繋がると信じて今年も尽力する所存です。

### ■現職市長の出馬表明

…さて、今年の4月には統一地方選挙が実施されます。東大和市の場合は、市議会議員、市長ともにこの選挙で選出されます。市民の声を届ける市議会議員もとても重要な役割を担いますが、市政運営の長、会社で言ったら社長という立場の市長が市に与える影響は大きなものです。これは、市議会議員になってみて、予想以上に大きいものだと思えて実感しました。

…前回の市長選挙には、再選を狙う尾又氏、2度目のチャレンジの尾崎氏、初挑戦の小林氏と3名の立候補者で争われ、尾崎氏が当選しました。尾崎市長に変わったことで、長年続いた尾又市長による市政運営との違いがこの4年間では見えています。一方で、市長になったからこそ分かる現実の難しさも尾崎市長は感じているのではないかと感じる場面も。その尾崎市長が今年4月に行われる統一地方選挙で再出馬をするのかどうかということは、市議会の中でも関心の高いことでした。というのも、尾崎市長の様子からは、出馬する、しない、どちらとも取れるようなところがあったからです。

…では、どのタイミングで、どのような方法で、現職の市長が再出馬の有無を宣言するのか。議員1年生の私にはわかりませんでした。新聞報道などのおり、12月に行われた市議会定例会の中で、市長の再出馬表明は行われました。

…一般的に現職の市長が再出馬を表明するのは、与党会派の会派長などが一般質問の中で、市長の再出馬の意向を確認する質問を行い、市長がそれに答弁する形で再出馬を表明するのが一種の慣例のようで、尾崎市長の表明もこの慣例にならった形でなされました。

…12月9日の市議会一般質問の最終日。当日は朝から傍聴人も多く、いつもは無人の記者席にも何名かの記者が来ている中、自民党会派の会派長の一般質問が始まりました。テーマは『増税先送りでも財源不足が懸念される社会保障制度改革について』。内容は、4月から始まる「子ども子育て支援新制度」で変化する内容の確認、また、その財源やそのほかの社会保障制度についてどのように財源を確保し充実させていくのかといったものでした。そして、15分ほどの質問、答弁のやり取りのあと「消費税率の引き上げ延期の影響が市民生活に及ばないように、最大限の努力をお願いしたいところだ。このような状況下なので、来年以降も尾崎市長が職責を担われると受け取っても良いか。」との質問をし、尾崎市長がそれに答弁する形で、再出馬を表明しました。その内容は以下の通りです。

「消費税率引き上げの先送り等の影響については社会保障等色々あるが、市長会でもそういった意味ではそれぞれの市の財源保障という意味でいろいろと要望をしているところだ。

政府予算、あるいは東京都予算編成との関係、社会保障の積み上げ、それから従来制度の維持、市町村への影響など、今後どのようになるのか。特に社会福祉、子育て施策の混乱も予想される。子ども子育て新制度への影響については、大きな財源不足も予測されるが、財源確保のため、消費税以外の財源の確保が必要だと考えている。しかし、新規施策の中止や、地方交付税制度への影響なども考えられるのではないかと。要するに不確定な中での対応が迫られるのではないかと。思っている。さらに、今後、事務制度など、市町村事務の効率化を目指してマイナンバー制度なども入ってくる。この制度の活用についても、今後の市町村の事務のあり方に大きな影響を及ぼすものだろうと思っている。その中身については不確定なところはある。そういったことを考えると、これから地方自治体は大きく変わっていくだろうと思うし『変わっていかねば運営できないという時代がいよいよ来たのだな』と感じている。そういった中で、しっかりと東大和市の将来の舵取りをしていきたいと強く感じているところだ。(裏面に続く)



そのためにも来年の市長選挙に出馬し、勝利をしなければいけないと強く感じている。

皆様方のご支援ご協力をよろしくお願ひしたいと思つてい

る。」この答弁のあと、議員の一部会派からは拍手が送られ、現職の尾崎市長の再出馬表明とされました。

その後の新聞報道によると、前回の選挙ではどこの政党からも推薦、支持を受けずに戦った尾崎市長ですが、今回は無所属で立候補、自民党、公明党に推薦を要請するとの考えも表明されました。

## ■尾崎市長カラーとは

…前述の状況から考えるに、市長が再出馬を表明することは予定されていたのだと思います。言い換えれば、市長も表明することを分かって準備をしていたということです。このような、質問に対する答弁という形で表明するのですから、あまり質問内容からかけ離れたことを言うのも変なものですが、あらためて、市長の答弁の内容を確認してみると、もう少しご自身の思いやカラーを出されても良かったのではないかと感じます。報道によると、子育ての充実などに力を入れていきたいとのコメントもあったようです。そうであるなら、今回の質問への答弁についても「財源確保に不確定要素はあるが、東大和市ならではの子育ての充実を模索していきたい」「子育てをするなら東大和市といわれることを目標とし、課題を一つずつ丁寧に解決していきたい」などの思いが入ったコメントがあっても良かったと感じました。…今後、尾崎市長が再出馬されるにあたって、その政策や方針などが発表されると思います。最初に述べたように、市政は大きく舵を切ることにはできない、また、市長になってみてわかった課題もあると思いますが、前回よりは現実にそった課題解決、理想の実現を表明されることを期待します。また、この任期の初めに市長が表明した所信表明についても振り返りが必要です。チャレンジしたが難しかったこと、実際に市の内情を知ると優先順位が変わったということもあるかもしれません。そういう場合には、その理由も添えて率直に市民に知らせて欲しいと思います。

…次の市長選挙では、どのような候補者が立つかは不明ですが、市長は市役所内のカラーを変えるほどの影響力があります。それが職員の業務に対する姿勢に現れ、最終的には市民が受けるサービスの内容にも影響します。市民の皆様も大きな関心を持って、次の統一地方選挙には臨んでいただきたいと思ひます。その結果が、大小さまざまな形で私たちの生活に影響する。これが、市議会議員になってみて改めて実感していることです。

## 【尾崎市長就任時所信表明の中の基本姿勢】

### ① 持続性のある行財政運営への転換と定着

今回の市長選挙にあたり、私は、「変えよう東大和」をキーワードとして、市民に分かりやすい透明な行財政運営、市長等の理事者の給与削減、市長車の廃止などを訴えてまいりました。これらは、厳しい財政状況の中で、より持続性のある行財政運営への転換・定着に視点を置いたものであり、そのための息の長い工夫が地域経営には必要であると考えます。

### ② 市民と行政が協働する市政の実現

今日の社会情勢の中にあつては、行政だけの努力でまちづくりを進めることは困難であります。そのため、市民と行政の協働により「夢のあるまちにしたい」という目標を掲げ、まちづくりの方向性を示してまいります。

### ③ 厳しい財政の中での効率性と選択による市政の推進

夢のあるまちとするため、実現すべき課題が山積しております。しかし、厳しい財政状況の中では、「あれもこれも」は現実的ではなく、財政が安定するまでの間、効率性を重視し、市民サービスを十分に考慮した上で、「あれかこれか」という選択を迫られるのではないかと認識しております。詳細な分析を行い、今後のあり方についてご協議を頂きたいと考えております。

### ④ 積み上げてきた資源の活用と市民参加の推進

東大和市は、北部に水と緑の豊かな環境を抱え、南部は住宅都市として、また鉄道とモルールが接続する、居住環境と交通網がバランスよく発展しているまちであります。これらの資源を活用しながら、さらに充実、発展させるため、市民参加型の市政運営を進めたいと考えております。

### ⑤ 震災に強い安心・安全なまちづくり

東日本大震災により、防災・安全対策が喫緊の課題となっております。このことから、大震災の教訓を活かした地域防災計画の徹底見直しを行うとともに、行政・関係機関・市民が結集して防災対策を進めてまいります。

以上、私の基本姿勢を申し上げます。

なお、当面する市行政の執行にあたりましては、平成 23 年第 1 回市議会定例会で可決されました平成 23 年度予算を基に、事業を推進してまいり所存であります。本日の所信表明は、私が目指す任期 4 年間の総括的な方針であります。具体的な施策は、年度ごとに明らかにしてまいります。

この基本姿勢の表明のあと『夢のあるまちづくり』を目指した6つの柱からなる施策が表明されています。6つの柱とは「住みよい、活気のあるまちづくり」「環境にやさしいまちづくり」「福祉の行き渡ったまちづくり」「地域力・教育力の向上」「財政の健全化」「市民とともに歩む市政運営」です。内容の詳細は市のホームページの「市長室」にも掲載されています。4年間の振り返りのために、改めて見直してみることも必要です。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。2011年4月、初当選。2014年5月より無所属で活動。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102